

千葉市立柏台小学校 校長 佐藤 典子

五月晴れの空の下、校庭には体を動かす子どもたちの声があふれています。教室では、子どもたちの「もっとたくさんの友達に聞いてほしい」「あれを調べてみたい」などの声をもとに、いろいろな活動が始まっています。

先日、1年生と2年生は学校探検をしました。昨年の経験を思い出しながら優しく案内する2年生は、とても頼もしく見えました。1年生は、担任や6年生以外にも頼りになるお兄さん、お姉さんがたくさんいることを知り、次々と質問をしていました。2年生は、頼ってもらうれしさや責任を感じている様子で、廊下の歩き方や時間に気を配りながら案内をしていました。

また、4年生から6年生は、クラブ活動が始まりました。普段は違う学年なので一緒に遊ぶことは少ない仲間が、同じクラブでどんな活動をしていくのか、とても楽しみです。

活動の数だけ子どもたちが学ぶことはあります。仲間と喜び合う経験もうまくいかず悔しい思いをする経験も、子どもたちにとり大切なものと考えます。

「今日、学校でね…」と子どもたちが話し始めたら、どうぞ聞きながら最後までゆっくりと聞いてみてください。きっとご家庭では見えにくい、成長した姿が伝わってくると思います。

